

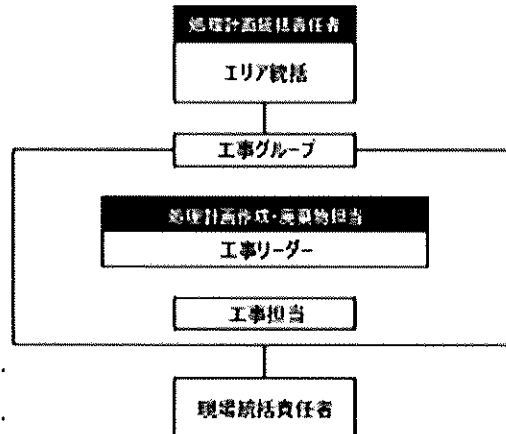
（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6 月 25 日	
山梨県知事	
長崎 幸太郎 殿	
提出者 住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 首都圏事業部 戸建山梨エリア	
住 所 〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町533-5	
氏 名 エリア統括 小林 一三	
電話番号 050-3112-6710	
山梨県生活環境の保全に関する条例第6 2 条第 1 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	住友不動産(株)新築そっくりさん事業本部 山梨エリア
事業場の所在地	山梨県甲府市中小河原町533-5
計画期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業
② 事業の規模	8億円
③ 従業員数	17人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	県内各現場 (別紙事業場) → 収集運搬 (委託契約) → 中間処理 (委託契約) → 再生利用事業者等 ↓ (石棉)最終処理 (委託契約)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		別紙参照
	排出量		
	（これまでに実施した取組）		
建設現場において、混合廃棄物を分別し発生抑制に努めました。 廃棄物の容器をフレコン袋やガラ袋など種類ごとに振り分けることで 廃棄物の抑制につながった。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		別紙参照
	排出量		
	（今後実施する予定の取組）		
廃棄物の発生に関しては比例しますが、現在の分別方法を計継続し 廃棄物の発生を最小限に抑制する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現場にフレコン袋・ガラ袋を用意し、がれき類の分別排出を心がける ・石膏ボードは濡れないようにしリサイクルに努める
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・既に実施していることは継続し、廃棄物処理業者と連携し、分別することで廃棄物の再生利用に努める

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙参照 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙参照 t	
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙参照 t	
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・現場にフレコン袋・ガラ袋を用意し、がれき類の分別排出を心がける		
	・石膏ボードは濡れないようにしリサイクルに努める		

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		別紙参照	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t		t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	・その他の廃棄物についても分別を実施する ・すでに実施していることは継続する ・廃棄物処理業者と連携し、更なる分別を進めるとともに再生利用化に務める			
	※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】産業廃棄物処理計画書

前年実績： 2023年度

本年計画： 2024年度

氏名又は法人名	住友不動産株式会社	担当者	花里 崇志
報告者所属部署	新築せつくりさん事業本部 戸建山梨エリア	電話番号	050-3112-6710

産業廃棄物の種類	実績・計画	(第2面)			(第3面)			(第4面)	(第4～5面)			
		排出量(t)	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立又は海洋投入した量	全処理委託量(委託先の区分ごとの処理委託量)		優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	認定業者以外の熱回収業者
1. 廃プラスチック類	前年実績 本年計画	19.679 23.000					19.679 23.000		18.000 20.000	1.679 3.000		
2. 紙くず	前年実績 本年計画	1.170 1.300					1.170 1.300			1.170 1.300		
3. ダンボール	前年実績 本年計画	2.730 2.900					2.730 2.900			2.730 2.900		
4. 木くず	前年実績 本年計画	232.925 250.000					232.925 250.000					232.925 250.000
5. 繊維くず	前年実績 本年計画	6.356 8.000					6.356 8.000		6.356 8.000			
6. 金属くず	前年実績 本年計画	15.594 18.000					15.594 18.000			15.594 18.000		
7. ガラスくず、コンクリートくず及び陶器くず	前年実績 本年計画	60.275 65.000					60.275 65.000		10.075 15.000	50.200 50.000		
8. 石膏ボード	前年実績 本年計画	33.453 35.000					33.453 35.000			33.453 35.000		
9. がれき類	前年実績 本年計画	261.960 270.000					261.960 270.000		80.060 90.000	181.900 180.000		
10. 安定型建設混合廃棄物	前年実績 本年計画	0.260 0.500					0.260 0.500		0.260 0.500			
11. 管理型建設混合廃棄物	前年実績 本年計画	58.977 60.000					58.977 60.000		58.977 60.000			
12. 建設混合廃棄物(石綿含有建材)	前年実績 本年計画	2.080 2.300					2.080 2.300		2.080 2.300			
13. ガラスくずコンクリートくず及び陶器くず(石綿含有建材)	前年実績 本年計画	23.100 25.000					23.100 25.000		23.100 25.000			
14. がれき類(石綿含有建材)	前年実績 本年計画	41.440 45.000					41.440 45.000		41.440 45.000			
15.	前年実績 本年計画											
計	前年実績 本年計画	759.999 806.000	0.000 0.000	0.000 0.000	0.000 0.000	0.000 0.000	759.999 806.000		240.348 265.800	286.726 290.200	0.000 0.000	232.925 250.000

